

トラックの燃費を向上させる運転方法&メンテナンス

トラックは普通乗用車と比較しても燃費がいいとはいえず、トラックを運転している方の多くは、少しでもトラックの燃費を向上させたいと感じていることでしょう。燃費を向上させるためには様々な工夫が必要ですが、その前提として燃費に関する情報を押さえておくことが必要です。ここでは、普通車との燃費の比較やトラックのサイズ別平均燃費など、燃費に関する基礎知識を解説します。

「普通乗用車との比較」

国土交通省が平成30年3月に発表した「自動車燃費一覧」によると、普通・小型乗用車における燃費値は、約20km/Lとなっています。これに対しトラックの燃費値は、サイズによって幅がありますが、およそ4km/L～12km/Lであるため、**普通乗用車と比較して大幅に燃費が悪い**ことが伺えます。したがって普通乗用車と同じようにトラックを運転してしまうと、予想以上に燃費が悪くなるため、注意が必要です。

「サイズ別の平均燃費」

トラックは車体の大きさによって燃費が変わり、**車体が大きくなるにつれて燃費が悪くなる**傾向があります。ここでは、トラックのサイズ別の平均的な燃費を紹介します。

【小型トラック】・・・小型トラックとは、積載量が3トン未満のトラックのことです。

小型トラックの平均的な燃費は10km/L～11km/Lです。

トラックの中で最も燃費のいいサイズですが、普通乗用車と比較すると大幅に燃費が悪いことがわかります。

【中型トラック】・・・中型トラックとは、積載量が3トン以上6.5トン未満のトラックのことです。

中型トラックの平均的な燃費は7km/L～8km/Lです。

【大型トラック】・・・大型トラックとは、積載量が6.5トン以上のトラックのことです。

大型トラックの平均的な燃費は4km/L～5km/Lです。

大型トラックは長距離を走ることが多いため、ガソリンの消費量も多くなります。

それぞれの平均的な燃費を見ていただくとわかるとおり、積載量の大きなトラックになるほど燃費は悪くなります。同じ距離を走行しても小型トラックに比べて大型トラックは約2倍のガソリンを消費することがわかります。

「燃費の計算方法」

燃費を向上させる方法を知る前に、1年間の燃費を算出する計算方法を押さえておきましょう。

燃費とは、その車がガソリン1Lあたり何km走ることができるかを示す指標です。

従って、燃費は次の計算式で算出できます。

$$\text{燃費 (km/L)} = \text{走行距離 (km)} \div \text{その走行距離に必要なガソリンの量 (L)}$$

「燃費が向上する運転方法」

【スピードを出しすぎない】

速度と燃費は密接な関係にあります。速度をあげることにより空気抵抗が増えると走行に余分なエネルギーが必要となり、その分ガソリンが必要となります。そのため速度を上げると燃費が悪くなります。運転する際は時間の余裕を持ち、可能な範囲で低い速度の運転を心がけるといいでしょう。

【速度を一定に保つ】

急な減速や加速を行う際には、通常の運転時よりも多くのエネルギーが消費されます。できる限り一定の速度を保ち、余計なエネルギーを使わないように心がけましょう。

【早い段階でのシフトアップ】

シフトアップとは、シフトレバーを低いギアから高いギアへ上げることです。アクセルを最大に踏み込むと、通常低速運転の3倍の燃料を消費すると言われています。発進や加速の際は燃費を大幅に消費するため、できる限りアクセルペダルの踏み込みは抑え、早い段階でシフトアップするといいいでしょう。



「燃費が向上するメンテナンス方法」

【タイヤの管理】

タイヤの空気圧が高ければ高いほど、燃費は悪くなります。しかし、空気圧をあげすぎるとタイヤの消耗が激しくなり、寿命が短くなるため**適正な空気圧を保つことが大切**です。

小型トラックで5KG～6KG、中型トラックで7KG～8KG、大型トラックで8.5KG～10KGが理想的なタイヤの空気圧となります。



【エンジンオイル】

エンジンオイルには、エンジン自体を保護すると同時に、エンジンパーツをスムーズに稼働させる役割があります。そのため、エンジンオイルに不純物が混ざると加速性能が低下し、燃費に影響します。エンジンオイルは毎月定期的にチェックし、3ヶ月に1度は交換することをおすすめします。



【空気抵抗を減らすパーツ】

トラックの運転速度が上がるほど空気抵抗が高まり、燃料を大きく消費する傾向があります。

トラックの屋根部分に「**エアデフレクター**」という装置を搭載することで**走行時の空気抵抗を減らし燃費を向上させる**ことが可能です。

また、**現在は多くのタイヤメーカーが低燃費タイヤを販売している**ためこれらのタイヤを導入することで燃費を向上させることが可能となります。



「トラックの燃費向上のメリット」

【経済面】

トラックの燃費を向上させることによって、燃料の消費量を抑えることができます。特に、長距離運転が多い大型トラックは燃料の消費量が大きいので、先述したようなさまざまな工夫により燃費を向上させることで、大幅に燃料代を節約することが可能となります。企業側も、**一台一台のトラックの燃費向上効果を通じて、全体として大幅に費用を削減することが可能です**。燃費の向上を意識することで、多くの経済的なメリットを得られます。

【環境面】

燃費向上に配慮した運転を行うことにより、大気汚染の原因ともいえる排気ガスや二酸化炭素の排出を減らすことが可能です。

トラック協会が2006年に地球温暖化の防止を目的に立ちあげた「グリーン・エコプロジェクト」では、会員事業者の燃費データを収集し、エコドライブへとつなげています。

燃費向上に関するさまざまな施策が環境保全に一役買っています。

軽油引取税の上昇や特定石油法の廃止などの法整備の変化、燃料費の上昇、地球環境への配慮などさまざまな社会背景を含め、トラックを取り巻く状況は厳しいものとなっています。トラックの燃費を向上させる施策はいくつもあり、その中には今すぐに取り組めるものもあります。今回の記事を参考にして、1人ひとりのドライバーがトラックの燃費を向上させるよう心がけましょう。

【編集後記】

2022年も半分が過ぎ7月を迎えました。

今年の7月7日の七夕の天候はどうなるでしょうか？

旧暦の7月7日が本来の七夕で、それは32日後の今の8月4日のことを示します。

その頃は熱中症の真っ盛り！今年も「ガリガリ君」と「梅」を用意して皆さんスタッフの無事の帰りをお待ちしております。しかし、自分の身を守るのは自分。

健康管理を十分に行い、安全運転で頑張りましょう！！



代表 黒澤美恵子